

該当学年	授 業 科 目 名	担 当 教 員	
再履修	音楽Ⅱ～1	北川 葉子	
サブタイトル	楽典の基礎、楽譜の読み書きの理解	単 位 数	1
授業形態	演習		
開講時期	前期	出席要件	4／5以上
到 達 目 標			
楽典の基礎を理解し、楽譜を正確に読み取る力を養う。ソルフェージュ課題を通して、楽譜通りに正しく歌え、リズムが打てるようにする。また「幼児とともに」の曲を歌い、子どもの曲を数多く知る。 ①音符や休符、拍子とリズム、変化記号や音程を理解し、読譜力を身につける。 ②音符、リズム、音程を正しく歌うことができる。 ③譜面と音符の書き方を理解し、正しく楽譜を書くことができる。			
ディプロマ・ポリシー（専門士授与の方針）との関連			
本科目は、特に「②専門職に関する知識・技能及び表現力を身に付けている」ことを目指す科目である。音楽に関する専門知識（楽典、音楽理論）を理解し、実践的なソルフェージュを学習することは、ピアノ演奏、歌唱、楽器演奏などを行なうための基礎となる。保育者として、子どもの音楽表現活動を支える不可欠な学修である。楽譜の読み書き、音程感、リズム感を体得し、音楽を楽しみ奏でることで「③豊かな人間性を身に付けている」ことも目指す。			
授 業 の 方 法			
楽典は講義形式で学習する。練習問題の実践や課題練習を行う。 楽典は单元ごとに小テストを行う。 実技では、ソルフェージュ課題を学習し、読譜力、初見能力、ソルフェージュ能力の向上を目指す。 『幼児とともに』を用い、保育者として必要な音楽表現を歌唱力に意識しながら表情豊かに歌えるようにする。			
テキスト・教材・参考図書			
テキスト：『子どもと歌おう！《新版》幼児とともに』 音楽Ⅰ研究室編 聖徳大学出版部 2011年 『バイエル』 聖徳大学・聖徳大学短期大学部音楽Ⅰ研究室 聖徳大学出版会 2017年 『ジュニアクラスの楽典問題集』 森本琢郎・池田恭子共著 ドレミ楽譜出版社 2008年			
評 価 の 要 点			総合評価割合
1. 楽典は单元ごとに小テストを行い、授業内試験を行う。 持ち込み不可。 2. ソルフェージュ課題試験（視唱）を授業内に実施する。 3. 忘れ物、提出物の遵守は評価に反映する。 4. 授業に取り組む姿勢、授業への貢献度も総合的に評価する。			小テスト・授業内試験 50% 実技・発表等 30% 提出物等 20%
履修上の注意事項や学習上の助言など			
・テキスト（ジュニアクラスの楽典問題集、バイエル、幼児とともに）、5線ノート（音楽ノート）、配布されたプリントを持参すること。 ・クリアファイルを2種類用意し、配布されたプリントを整理すること（初回授業で説明する）			

授 業 回 数 別 教 育 内 容		身につく資質・能力
1 回	ガイダンス：本授業の目的を理解する ・ト音記号、ヘ音記号、音符の種類を理解する ・「音符表」の作成、ソルフェージュ課題、リズム課題の演習	楽典、読譜力の必要性を理解する
2 回	楽譜の基本 (1) ソルフェージュ課題 ・5線と音の関係、音符、休符、音名を理解する	記譜法の基礎知識
3 回	楽譜の基本 (2) ソルフェージュ課題 ・小節と小節線、終止線、複縦線の書き方を理解する ・大譜表、ハ音記号とオクターヴ記号を理解する	記譜法、読譜法の理解
4 回	音符と拍子記号 (1) ソルフェージュ課題 ・前回までの振り返り ・音符と休符、変化音を学ぶ	拍子記号、リズム、変化音の理解
5 回	音符と拍子記号 (2) ソルフェージュ課題 ・前回の振り返り ・拍子とリズムの関係を理解する	リズムの理解
6 回	記譜法 (1) ソルフェージュ課題 ・前回までの振り返り ・楽譜の書き方を学ぶ	拍子とリズムの 関係の理解
7 回	記譜法 (2) ソルフェージュ課題 ・前回までの振り返り ・楽譜の書き方を学ぶ ・音部記号の書き換え、拍子の書き換え	音域と楽譜の関係の 理解
8 回	記譜法 (3) ソルフェージュ課題 ・前回までの振り返り ・音部記号の書き換え、拍子の書き換え	音域と楽譜の関係の 理解
9 回	音程 (1) ソルフェージュ課題 ・前回までの振り返り ・音程、複音程を学ぶ	音程の理解
10 回	音程 (2) ソルフェージュ課題 ・前回までの振り返り ・3度音程、長3度、短3度を学ぶ	音程の理解
11 回	音階 (1) 長音階と調号 ソルフェージュ課題 ・前回までの振り返り ・長音階を学ぶ	長音階の理解
12 回	音階 (2) 長音階と調号 ソルフェージュ課題 ・前回までの振り返り ・長音階の調号を学ぶ ・長音階の音程関係を学ぶ	音階、調号の理解
13 回	音階 (3) 長音階と調号 ソルフェージュ課題 ・前回までの振り返り ・調号の書き方、調号と調性の関係を学ぶ	調号の理解
14 回	まとめ (1) ソルフェージュ試験 ・前回までの振り返り ・ソルフェージュ課題（視唱）の実技テスト	音符、リズムの正確な 把握、楽典の確認
15 回	・授業内試験 ・楽典の復習とまとめ	楽典の理解、応用力